

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
ク ラ ブ 運 営 常 任 委 員 会	親睦活動 西澤 直紀	毎月行事として、該当会員に対し、誕生・結婚及び入会記念の御祝品を交付した。
		①記念御祝品 執行額 427,320円
		②夏に家族親睦BBQ、春に親睦家族会を行った。 夏BBQ 参加者 42名 委員会負担 3,178円 春観桜会 参加者 35名 委員会負担 46,720円
		③新入会員歓迎会 3回開催 1回目 参加者 31名 ¥24,000- (錦松鶴) 2回目 参加者 32名 ¥12,000- (からさき) 3回目 参加者 34名 ¥18,000- (黒石 高槻店)
		④12月に忘年家族例会を実施した。 参加者 68名 ¥174,868- (諸経費含む) 執行合計額 706,086円
小 阪 大 輔	プログラム 藤松 功治	理事会決定により
		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回は30分卓話を実行。 ・年5回程度、高槻市に関連のある方の外部卓話を実行。 また、会員相互の情報共有のため、
		<ul style="list-style-type: none"> ・国際・青少年・社会奉仕等、各委員会の奉仕活動報告をしていた。 ・年2回程度、地区委員長会議の報告をしていただき、地区の方針等を共有した。 ・なるべくたくさんの方に卓話をさせていただくようにした。
	会報・広報 山室 匡史	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から会報はメールにて送付（ペーパーレス）。希望者には従来通りペーパーを渡す。 会報費用なし ・広報は、各委員会の活動を報告いただき、随時HPに掲載した。 ・ロータリーの友への投稿も行った。（9月号に掲載） ・My Rotaryへの書き込みを行った。

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
クラブ組織 伊藤智秋 常任委員会	会員増強	退会者：3名 入会者：4名 交代者：4名 実増数：2名 二人三脚例会 2回開催 食事費 26,000円 Rの友誌 進呈送料 1,544円 会員手帳 ラベルシート 1,080円
	選考・分類 大木 城司	2回の二人三脚例会を実施し、委員会メンバーを始めクラブが一丸となって増強に尽力して頂いた結果会員数を2名増やし51名となった。残念ながら3名の退会者が出たが何れも体調不良ということであった。二人三脚の結果、推薦者の丁寧なフォローのお蔭で入会して頂けることに繋がった。 又、名簿の整理の上でも非常に有意義であった。 「ロータリーの友」贈呈を試みたが、すぐに配布先を欠き、成果には繋がらなかったように思うので、今後の課題としたい。 <div style="text-align: right;">執行額 28,624円</div>
クラブ研修委員会 清水利男	R情報・雑誌 羽根田 茂子	①ロータリーの友を配布し全員にロータリー活動に対する意識を高める情報を提供した。 ②情報集会を年4回開催し、ロータリー活動への理解と参加意欲をもってもらおうべく下記の通り行った。 1) H28. 7. 28 第1回情報集会 31名参加 於：錦松鶴 「女性から見たロータリークラブについて」伊藤智秋会員 2) H28. 11. 16 第2回情報集会 38名参加 於：例会場 「ロータリークラブに於ける自分が思う職業奉仕とは」 片山美智子会員 片山会員の20分の卓話の後、テーブルディスカッションを行い、各自の職業奉仕に対する思いを書類にて提出していただき後日全員にフィードバックした。
	研 修 長井 正樹	3) H29. 2. 22 第3回情報集会 32名参加 於：からさきや 「戦略委員会活動報告」 川面智義会員 4) H29. 5. 31 第4回情報集会 42名参加 於：桃谷樓 「高槻ロータリークラブの歴史と伝統について」 西田直弘会員 西田会員の卓話の後、全員でテーブルディスカッションを行い、ロータリーの理解を深めた。
	規 定 田淵 謙二	③今年度の新入会員候補者全員に訪問の上、特にロータリーの組織運営、権利、義務等について説明し、会員としてスムーズに溶け込めるようにした。 ④新入会員入会手続き、情報集会、IM、地区大会等への出席を積極的に推奨し、ロータリー会員として自己研鑽を手伝った。 ⑤理事会決定により、高槻ロータリークラブ定款については、標準ロータリークラブ定款に沿った形に変更する。なお、今回のRI提案である例会の柔軟運営等細則の変更については、他クラブの状況も見極めて検討する。 <div style="text-align: right;"> 執行額 情報集会 42,000円 ロータリーの友 139,968円 </div>

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
職業奉仕常任委員会 小山 彰夫	内 西田 直弘	<p>今年度は地区研修での「クラブが行う職業奉仕活動は会員の訓練の為の例示あるいは会員個人の職業奉仕活動の手本であること、その為のプログラムの立案、実行、研修と勉強の支援が大切な役割」を念頭に事業を企画、立案しました。</p> <p>1. 毎月第1例会日に会員の創立記念を祝福 110,000円</p> <p>2. 10月12日 外部卓話 金田 高槻商工会議所会頭(高槻市観光協会会長) 「高槻の発展を願って、高槻の観光ビジネスについて」を実施した。 8,640円</p> <p>3. 11月19日 工場見学 サントリー工場 「その後のウイスキーについて、ウイスキーの魅力を探る」 サントリー松山様による工場内説明後、5大ウイスキーの試飲 (25名参加) 4,320円</p> <p>4. 11月30日 「洋食を楽しむ」 イタリアン VIVOにて 食事と合わせながら、ワインを9種テイスティングし、マリアージュを体験 (25名参加) 38,500円</p>
	外 坂野 信一	<p>5. 1月18日 委員長卓話 「ロータリーにおける職業奉仕について」 地区職業奉仕委員会会議の内容をもとにメンバーにわかり易く解説</p> <p>6. 2月15日 「和食を楽しむ」 山水館にて 佐藤料理長により8種の料理と4タイプの日本酒の説明を受けそれぞれの相性の良さを確認 (14名参加) 36,074円</p> <p>7. 優良従業員表彰を年1回実施 57,776円</p> <p style="text-align: right;">執行額 255,310円</p>
社会奉仕常任委員会 石田 佳弘	教 育 稲富 博文 環 境 松下 喜八郎	<p>●薬物乱用防止キャンペーン活動事業報告書</p> <p>日 時 平成28年8月6日(土)及び7日(日) 各日12:00～15:00</p> <p>場 所 阪急高槻市駅前高架下広場</p> <p>キャンペーン名称 薬物乱用防止キャンペーン活動</p> <p>啓発対象者 大阪府民・高槻市民 (約3,000人)</p> <p>内 容 高槻まつり開催時、人の多く集まる場所において大阪府警の薬物乱用防止キャラバンカー及びダメゼッタイ君の着ぐるみを活用し、リーフレット及びキズテープ等を配布し、府民及び市民に対して広く薬物乱用防止の重要性を認識して頂く為の啓発活動を行う。 また質問及び相談には専門の薬剤師が対応した。</p> <p>配布資料 リーフレット 2,000枚・キズテープ 1,000枚</p> <p>その他 「ダメ、ゼッタイビデオ」のビデオ上映 キャラバンカー車内では薬物標本の展示 会場周辺に薬乱防止のぼりを立てキャラバンカーの周りで薬乱防止パネルの掲示する。</p>

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
社会奉仕常任委員会 石田佳弘	教 育 稲富 博文	収入の部 委員会予算 50,000円 支出の部 高槻高校RAC参加記念品費5,000円 @1,000×5 (税込み) 飲料費 11,160円 @120×93 (税込み) 交通費 2,880円 @720×4 (阪神高速) <hr/> 合 計 19,040円 ●いのちキラキラ食裁活動事業報告書 活動報告 子どもたちの生涯にわたる人間的発達の基礎を守り育て、生きる力と人やものを愛する心の芽生えを培うため、土の「いのち」や植物の「いのち」をはぐくむことにより野菜の栽培を通じて「いのち」の大切さを味わい、自然と親しみ、環境や人とかかわる体験によって豊かな感性と創造的表現力を伸ばし、また保護者にも「育てる」という価値観に立って協働していくことの大切さを実感して感じて頂くことを目的とするもので、「いのち」の尊さを感じ、植物を愛する心をはぐくみ豊かな感性と創造的な表現力を身につけ、豊かに表現を楽しむことのできる「こころ」感じたと思う。 当クラブでは2008年より「いのちキラキラ食裁プロジェクト」と位置づけ高槻市教育委員会と共同プロジェクトとして高槻の幼稚園に通う園児を対象に野菜の土入れから収穫までを親子で試行錯誤しながら創造的に行い、野菜を世話し日々心をこめて育て「いのち」が育っていく様子を観察することにより、子どもたちの登園の楽しさにつながるとともに保護者や教師が子どもの言動を共感的に受け止め、寄り添って育てていこうと感じる「親子の絆」をはぐくんでいます。 今年度もいのちキラキラ食裁活動として夏野菜と冬野菜に分け、年2回の収穫を目標に野菜の栽培をし、上記目的達成ため当クラブ社会奉仕委員会では高槻市教育委員会に土・肥料・種苗などの資金的援助や栽培指導及び広報活動を行ないました。
	環 境 松下 喜八郎	(年間スケジュール) 8月 ブロッコリーなどの冬野菜栽培準備 9月 ブロッコリーなどの冬野菜種まき 2016年市民の健康・食育フェア参加 10月 ブロッコリー苗植え替え 11月26日 (土) 幼稚園フェスティバル パネル展示 高槻市生涯学習センター多目的ホール 活動風景は以下のAddressでご確認いただけます。 http://30d.jp/8934/223 12月～3月 ブロッコリーなど冬野菜収穫開始 2月 高槻駅地下ショーウィンドウ展示 (2月～3月) 2月15日 (水) 植栽活動意見交換会 高槻市市立阿武野幼稚園 活動風景は以下のAddressでご確認いただけます。 http://30d.jp/8934/247 3月 2016年度実践綴り作成

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告																
社会奉仕 常任委員会	教 育 稲富 博文	<p>5月9日(月) 土づくり、夏野菜苗植え 高槻市私立西冠幼稚園 活動風景は以下のAddressでご確認いただけます。 http://30d.jp/8934/272</p> <p>7月 夏野菜収穫開始</p> <p>決算報告 収入の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">高槻市保育幼稚園総務課予算</td> <td style="text-align: right;">210,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">いのちキラキラ食裁協賛金</td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">190,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">合 計</td> <td style="text-align: right;">400,000円</td> </tr> </table> <p>支出の部</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">野菜栽培用品費</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">花と野菜の培養土</td> <td style="text-align: right;">140,280円 (@420×334)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">用紙代</td> <td style="text-align: right;">3,780円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">印刷製本代</td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">45,684円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">合 計</td> <td style="text-align: right;">189,744円</td> </tr> </table> <p>●2016市民の健康・食育フェア活動 日 時 2016年9月4日(日曜日) 午前10時～午後3時30分 場 所 高槻現代劇場 <div style="margin-left: 40px;"> <健康ブース> 文化ホール <食育ブース> 市民会館2階 </div> 昨年度までは、「健康フェア」と「食育フェア」として、別々に開催していたイベントですが、健康づくりの大きな部分を占める「食育」と「健康づくり」を一緒に広く学んでいただきたいとの思いから、今年度からは同時に「市民の健康・食育フェア」として開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会 「本当に膝の痛みを治したい人へ」 平中 崇文 高槻病院副院長 整形外科部長兼関節センター長 ・健康度測定、健康に関する体験・相談ブース 2Fでは体力測定、運動処方・運動処方 ・救急車と記念撮影(当日整理券を配布) など 上記事業の協賛団体として10,000円の協賛金を支出する </p> <p>参加者 約2,800名 会計報告 支出 協賛金 10,000円 活動風景は以下のAddressでご確認いただけます。 http://30d.jp/8934/198</p>	高槻市保育幼稚園総務課予算	210,000円	いのちキラキラ食裁協賛金	190,000円	合 計	400,000円	野菜栽培用品費		花と野菜の培養土	140,280円 (@420×334)	用紙代	3,780円	印刷製本代	45,684円	合 計	189,744円
	高槻市保育幼稚園総務課予算	210,000円																
いのちキラキラ食裁協賛金	190,000円																	
合 計	400,000円																	
野菜栽培用品費																		
花と野菜の培養土	140,280円 (@420×334)																	
用紙代	3,780円																	
印刷製本代	45,684円																	
合 計	189,744円																	
石 田 佳 弘	環 境 松下 喜八郎	<p>●高槻シティハーフマラソン 日 時 平成29年1月22日(日) 9:30～15:00 場 所 高槻市総合スポーツセンター 事業内容 ポイントスタッフとしてコース上の警備及び負傷者の救護並びに清掃活動 参 加 者 RC会員26名 ランナー約8,000人</p>																

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
社会奉仕常任委員会 石田佳弘	教 育 稲富 博文 松下 喜八郎 環境	活動報告 RC担当ポイント付近での負傷者、トラブルはなく無事マラソンランナーに走行して頂くことが出来た。厳寒の中、休日にも関わらず多数の協力して頂くことができ、また浜田会員のご配慮によりスタッフの駐車場が確保できた。 決算額 17,283円 (飲料・菓子代) 活動風景は以下のAddressでご確認いただけます。 http://30d.jp/8934/239 ●第55回高槻市美術展 日 時 平成29年9月21日 (水)～25日 (日) 場 所 高槻市現代劇場 会計報告 支出 高槻市美術展委託費 図書カード 5,000円分 ●親子で見て聞いて楽しむクラシックコンサート 「さくらさくら」 日 時 平成29年4月9日 (日) 11時～ 場 所 高槻市総合市民交流センター8F イベントホール 会計報告 支出 協賛金 50,000円 ●熊本大分災害復興支援 会計報告 熊本復興義損金 0円
国際奉仕常任委員会 浜田厚男	国際交流 篠原 光子 R財団 井前 憲司 米山奨学 西本 恵美子	1. ブキビントン訪問 デング熱撲滅共同プロジェクトの打合せと実情見学に9月9日から12日 7名で参加 補助金 170,000円 就任式お祝い 50,000円 2. デング熱撲滅キャンペーン 268,056円 3. R財団100周年記念シンポジウム協力金 12,750円 4. 国際大会参加者への補填 (4名) 40,000円
		執行額： 540,806円

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告
青少年奉仕常任委員会 内本 繁	教 育 馬淵 晴彦	<p>[1] 地区で8番目となる「高槻中学校・高等学校インターアクトクラブ」の本格的活動の年度となり地区の行事を中心に活発な活動を行った。</p> <p>1. 地区海外研修に参加 (1) 日 程 平成28年8月2日(水)～6日(日) (2) 研修先 フィリピン セブ島 (3) 参加者 ロータリアン 33名(当クラブ2名)、顧問 9名(当校1名) インターアクター 48名(当校5名)、ガバナー事務所 1名 合計 91名 (4) 概 要 現地のバンカルハイスクールのインターアクターとの交流会とカラウイサン小学校にて文房具類を贈呈し折り紙交換会などを行った</p> <p>2. 社会奉仕委員会の違法ドラッグ撲滅キャンペーンに参加 (1) 日 時 平成28年8月6日(土)～7日(日) (2) 会 場 阪急高架下 (3) 参加者 インターアクター5名 (4) 概 要 インターアクターが高槻まつり兩日の午後に社会奉仕委員会が実施した違法ドラッグ撲滅キャンペーンに参加し、暑い中市民にチラシを配布するとともに着ぐるみに入りPR活動を行った。</p> <p>3. 高槻中学校・高等学校第51回文化祭に出展 (1) 日 時 平成28年10月1日(土)～2日(日) (2) 概 要 インターアクターが文化祭に出展し「今から救える未来の自分」をテーマに防災に関するグッズの展示とIACの活動を来場者にPRした。</p> <p>4. 地区インターアクト年次大会に参加 (1) 日 時 平成28年11月13日(日) 10:00～16:00 (2) 会 場 大阪桐蔭中学校・高等学校 (3) 参加者 ロータリアン 44名(当クラブ1名)、顧問 13名(当校1名) (4) 概 要 インターアクター 109名(当校13名)、ローターアクター他 20名 合計 186名 ターゲット 「多様な生物との共存」ー未来に豊かな水源の森をーテーマ 「豊かな森を未来へ～クマが教えてくれた森の危機」 講 師 日本熊森協会 室谷 悠子 氏 各クラブの活動報告の発表とフィリピン セブ島の海外研修DVDを鑑賞 講演では人工林政策によりクマをはじめ野生の動物が生息しにくくなっている実態を知ることにより、環境を守り動物と共生していくことの大切さを学んだ。</p> <p>5. 地区新入生歓迎会に参加 (1) 日 時 平成29年6月4日(日) 9:30～16:00 (2) 会 場 生駒山麓公園 野外活動センター</p>
	インターアクト 橋本 憲治	

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	担当副委員長	活 動 報 告															
青少年奉仕常任委員会 内本 繁	教 育 馬淵 晴彦 インターアクト 橋本 憲治	<p>(3) 概 要 9時に近鉄生駒駅に集合し約3.2kmをハイキング、1時間で野外活動センターに到着。ここで5～6人の班に分かれて昼食用のバーベキューを共同で作り美味しく堪能、その後はオリエンテーリングを行い他クラブとも交流し親睦を行い有意義な新入生歓迎会となった。</p> <p>以上、当年度は当初の活動方針に従って、インターアクトクラブの活動の支援を主体に活動した。</p> <p>◎決算</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">インターアクト関係</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">549,000円</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>地区関係 春のライラ登録</td> <td style="text-align: right;">18,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>秋のライラ登録</td> <td style="text-align: right;">18,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三大学医工薬連環機構自由研究コンテスト協賛金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">執行額</td> <td></td> <td style="text-align: right;">635,000円</td> </tr> </table>	インターアクト関係	549,000円		地区関係 春のライラ登録	18,000円		秋のライラ登録	18,000円		三大学医工薬連環機構自由研究コンテスト協賛金		50,000円	執行額		635,000円
インターアクト関係	549,000円																
地区関係 春のライラ登録	18,000円																
秋のライラ登録	18,000円																
三大学医工薬連環機構自由研究コンテスト協賛金		50,000円															
執行額		635,000円															
60周年記念事業 松尾 浩		<p>平成29年1月22日日曜日高槻現代劇場において高槻ロータリーデーとして青少年奉仕委員会と連携して第3回高槻ロータリー未来塾の開校を行った。</p> <p>高槻・島本町の7校の高校と高槻支援学校の生徒たちによるダンスパフォーマンス「壺開翔舞」を行い、ダンスの技術の向上を図られたばかりではなくコミュニケーションの大切さや何かを成し遂げた充実感、仲間同士の連帯感が生まれたのではないのでしょうか。次世代の若者に感動・感激を与えられた事業ではなかったかと思えます。</p> <p style="text-align: right;">執行額 ￥896,820-</p>															
クラブ戦略計画委員会 川面 智義		<p>始めに、高槻ロータリークラブは、長い歴史と伝統を大切に現在まで自由闊達に活動されて節目の60周年記念行事も無事経過し、65～70周年に向かって営々と歩んでいます。しかしながら、市民感情を分析した地域社会との提携や、地域社会に存在する課題は何かと考えると、私たちがなすべき事が山積しています。そして、そこに今後のあるべき姿が見えてきます。こうした基盤において、当高槻ロータリークラブも準備期間を設けて多々意見調整を重ねた結果、各位の尽力により戦略委員会を設けることが出来、発足した次第です。</p> <p>順次 ロータリークラブの現状と当クラブの戦略委員会の取り組みと今後の在り方など記述します。</p> <p><u>(1) 今 ・ ロータリーの危機と言われている</u></p> <p>2017年度 F・ジャームR I 会長も2016年の各地の地区大会に寄せたメッセージの中で「今、ロータリーは、いわば、転換期となる歴史的な局面に立っているとロータリーの現状を表明しています。</p> <p>第45回 ロータリー研究会レポートを参考にして説明していきますと</p> <p><u>(2) 何が危機なのか</u></p> <p>ロータリーも100年の歴史を重ね拡大し続け、200以上の国と地域 日本のロータリーは、会員数89,025人 クラブ数2,263 これだけの多くの人々が親睦と奉仕の理想の下に世界中で多くの実践と成果を挙げてきました。がしかしながら、世界各国のクラブも日本ももちろん、歴史、規模 地域性などすべてが異なっています。</p> <p>この、多様性に富むクラブを一定のルールで一元的に絞るのは問題であり、ここに危機感が存在しています。その対策としては、</p> <p><u>対策1</u> 世界各国に対して、ある程度の柔軟性を認めることにより各クラブのボトムアップの力で会員基盤とクラブ活動の強化を図ってもらう方が発展に繋がると考え対策とした</p>															

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	活 動 報 告
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">クラブ戦略計画委員会</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">川 面 智 義</p>	<p>対策2 <u>ロータリーが安定的に発展を続けるためには、組織の改革が必要不可欠ではないのかと、R Iに始まり地区、各クラブへ、トップダウンからの指示は組織に危機感が募るのではないのか、ここにも対策の必要性大としています。</u></p> <p>将来のロータリーを担う若い世代が入りやすいクラブ、地区の特性を生かした地域密着型のクラブなど、各クラブの自主性を大幅に認めることにする。</p> <p>しかし、残念ながら、規定委員会も会員資格の緩和などに対応出来る形になっていない。一業種一会員で社会奉仕に邁進し切磋琢磨していくことはいい面もあるが、例外規定を設けてみるのもいい試みかもしれない。</p> <p>対策3 <u>各クラブは細則を変更する必要がある、各クラブは、将来に向けて今後どのように運営するか、はっきりしたビジョンを決めて細則を変更する必要がある。</u></p> <p>等々、この研究会で決定されています。これは、ロータリーの哲学を変えるものではなく、組織を変えるかどうかクラブにゆだねられています。それぞれのクラブの特徴を生かした運営をすることによって、入会者がクラブを選ぶ時代がくるかもしれないのです。ここに、時代を踏まえたR Iの危機表明を認識して頂きたい</p> <p><u>要は、ロータリーの真髓、核は守りながら奉仕のバランスをいかに保っていくかが大切です。これが結論です。</u></p> <p><u>3) 高槻ロータリークラブの戦略計画</u></p> <p>このような機運や経緯の中で高槻ロータリークラブも、戦略委員会を発足させることになりました。準備期間の中で理事会とも意思疎通をはかり、委員も会員増強 伊藤委員 財政強化 藤井委員 親睦 朝倉委員に決定しました。</p> <p>第1回戦略委員会を2016. 10・26に開催し、第4回目まで進捗済みです。</p> <p><u>戦略計画とは、「ロータリーが、これからもダイナミックな組織であり続け世界中の地域社会に貢献して行くための将来の指針となるのがロータリーの戦略委員会であると定義されています。</u></p> <p>①) <u>ビジョンの決定</u></p> <p>戦略委員会の立案は、ビジョンを思い描き、これに向けた目的を立てるプロセスであり、戦略計画立案の出発点でもあります。これからの3年 5年 10年後と明確な期限を限ってどんなクラブになるか想像して方向性を定めるのがビジョンを持つということです。どんなに、素晴らしいビジョンであってもクラブ全会員で挑戦が必要です。</p> <p><u>高槻ロータリークラブのビジョンを決定</u></p> <p>クラブ長期テーマとして 「品格と活気溢れるクラブ創り」、サブテーマとして「クラブを変革させ魅力ある楽しいクラブに」としました。</p> <p><u>ビジョンに掲げた人格、品格を高めるとはどういうことかこの機会に少し説明しておきます。</u></p> <p>ロータリーは社会の縮図だと言われますが、社会に存在する悪は、ロータリーにも存在していますし、社会で悪ならロータリーでも悪です。一人一人のロータリアンが神聖なモラルや優れた資質を持って入会してくるわけではありません。ロータリークラブは、寄付団体や慈善事業団体、ボランティア団体でもなく「理論を提唱して行くことによって世の為、人の為に働いて行こうという団体」と定義しています。言い換えれば、人間をつくるには、情熱を持って厳しい試練に身をさらし磨きをかけようということです。現社会は、礼節が乱れています。仕事が一倍出来ても優れた人材とは言えません、その人の何気ない言動に、人格や品格が現れます。挨拶 約束時間厳守など当たり前の礼儀さえ守れないようでは自分に対する信用、信頼感さえ失われてしまうということです。</p> <p>品格とは、環境によって形成されるものです。</p> <p>ロータリー会員の人も仲間からの影響を受けながら会員の品格を変えていきます。</p> <p>高槻ロータリークラブだからこそ人を創るクラブにして行きたいのです。</p> <p>この思いで品格を変え格式を高めようと決意しビジョンにかかげたのです。</p> <p>②) <u>長期テーマの決定</u></p> <p><u>会員増強 目標</u></p> <p>毎年 継続的に増強しなければならない。老 壮 青のバランスを考慮 社会の変化により職業分類も変化するので常に新しい職業分類を開拓し会員一人一人が推薦するまで</p>

2016～2017年度 委員会活動報告書

委員会	活 動 報 告
<p>クラブ戦略計画委員会</p> <p>川面智義</p>	<p>目標を高める。 この目標にたいして、伊藤委員より、「2024年6月15日に高槻ロータリークラブは創立70周年を迎えますこの記念すべき日に向かい会員数100名を目標に定めたい。今後ともクラブ組織委員会と連携し二人三脚例会を実施したい二人三脚例会は、ありのままの高槻ロータリークラブに参加して頂く趣旨のもですが「会員増強」に特化した企画を提案させていただく」と提案がありました。</p> <p>具体案として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜日朝食を共にする例会ではなく、例会とは別の場所で夕食会を開催する。 ・高槻ロータリークラブ主催の「観桜会」「クリスマス会」又は「未来塾」等に参加して頂く。(会費別) ・「同好会」単位でイベントを催し外部の参加を呼び掛ける(同好会を増やす) <p>各委員会のご協力、有志のご協力が不可欠です。是非 ご検討下さい。 との提案がありました。是非 検討進捗下さい。</p> <p><u>財源管理</u> (基金目標の設定・有意義なクラブ活動の設定と精査 その成果を評価し適切な財源支出を計画) この目標に対して、3月15日に、財務管理 藤井委員より財務戦略として、喫緊(きつきん)の課題は積み立て不足を改善しておくことです。そのためには、財務上の問題点を明確にする必要があります 今後は、次のように実施して行くことを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動に関する予算(ニコニコ会計)を完全に分けて管理する。 ・クラブ運営会計から100万円を目標に周年事業に積み立てる。 ・慈善・奉仕活動会計(ニコニコ会計)より年間50万を目標に積み立て将来の大きなプロジェクトに備える。 <p>目標 両積立金合計で 65周年までに500万 70周年までに1,000万～1,500万を積み立てる。又、財務戦略を実施して行く上で重要な会員増強についても提言して行きたいと提案されています。継続して推進進捗ねがいます。</p> <p><u>③親睦(同好会予算の在り方等)</u> 以上を中核的価値観、即ち戦略委員会の方向性を定める原動力として進捗していきます。親睦は各会員同士が理解し合わねば内も始まらない、一致したニーズの中で親睦活動は、行動する必要がある。要は皆が参加する、出来る親睦会でなければならない、同好会の協力(同好会を増やす)会員からの提案の尊重 他クラブからの情報による行先の策定、他地区の有名な祭りの参加など有意義な親睦は多いはず。親睦がクラブを活性化しすべての原点として親睦が優先していることを再認識して活動して行きましょう。との提案もありました。</p> <p>過去のカドマン会長はロータリアンは生まれるものではなく、創られるものなのである。<u>You are the key</u>(あなたが鍵です。)と訴えています。</p> <p><u>4) 2017年度の戦略委員会の指針となるのは、何か</u> ロータリーも112年生き延びています。 2017年度のR I会長(現会長エレクト) イアン・ライズリー氏はクラブの「サポートと強化」に関して 男女会員のバランス ロータリアンの平均年齢 の2項をあげています。 私達 戦略委員会の取り組み課題でもあります。 私達委員会が変わるのではなく会員一人一人が変えていく、そのために絶大な協力が必要です。 長文になりましたが、面倒がらずに是非読んでいただきご理解賜りますようお願いする次第です。</p>